



2023.NO  
143

# 子ども議会



## 私の思い～子ども議会～

### 目次

- ・第4回定例会・臨時会……………2
- ・一般質問一覧……………3・4
- ・一般質問……………5～11
- ・総務建設常任委員会研修報告……………12・13
- ・厚生文教経済常任委員会研修報告……………14・15
- ・議会の動き／トピックス／軌跡……………16



令和4年

第4回  
定例会追加予算  
約2億6,000万円を可決

## ①全町民への商品券配布事業

## ②農業振興費における各種補助金ほか

令和4年第4回定例会は、12月6日から9日までの4日間の日程で行われ、令和4年度一般会計補正予算の専決処分1件、令和4年度各会計補正予算6件、条例改正等7件が上程され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決した。令和4年度一般会計補正予算の主なものは、コロナ禍・円安等による食料品をはじめとした物価高騰、原油価格及びLPGガス高騰の影響を考慮し、家計への負担軽減を図るとともに、子育て世帯への支援、町内事業者に対する支援の拡充を図るため、全町民に1人当たり1万円、高校生以下には5千円上乗せし1万5千円の商品券を配布する事業、農業振興費における各種補助金、ふるさと納税事業費など。

なお、一般質問は、12月8日から9日に行われ、7人が登壇し、執行部の考えを質した。

## 条例改正等

## ① 錦町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院及び熊本県人事委員会の勧告に準じ、一般職の職員の月例給及び勤勉手当の支給率を改正するもの。

## ② 錦町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

③ 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

地方公務員法の一部を改正する法律により、職員の定年が段階的に65歳まで引き上げられることを踏まえ、60歳以後の処遇について定めることにも関係条例を整備するもの。

## ④ 錦町の行政財産及び公の施設使用料条例の一部を改正する条例

町の行政財産である土地に電柱類を設置した場合の使用料算定の方法について、明記するもの。

## ⑤ 錦町国営川辺川総合土地改良事業負担金等徴収条例の一部を改正する条例

熊本県国営土地改良事業負担金徴収条例の改正に準じ、本町の負担金等徴収条例においても同様の改正を行うもの。

## その他

## ⑥ 熊本県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更について

⑦ 水無川橋下部工事請負契約について  
契約金額 1億3,464万円  
契約の相手方 人吉市西間上町  
2479番地1  
丸昭建設株式会社

## 第3回臨時会

令和4年10月14日に行われ、台風14号に係る災害応急対策等に係る専決処分1件、住民税非課税世帯、家計急変世帯を対象とする「電力・ガス・食品等価格高騰緊急支援給付金支給事業」や給食費全額補助等に伴う補正予算1件、町道山江錦線（木綿葉大橋）下部工補修補強工事（1期）請負契約についてが上程され、いずれも原案のとおり可決した。

## 第4回定例会一般質問事項一覧①

議員名	質問事項	質問の要旨
岡田議員 (P5)	一武保育園跡地の利活用について	①利用計画はあるのか。 ②計画があるのなら、その内容は。 ③町民からの問い合わせがある。有効な活用方法を検討すべきである。
	交通弱者への救済対策について	①運転免許返納者へのその後の対応は。
	土地の維持管理について	①農家の高齢化に伴う国、県、町としての対応策はあるのか。
	空家問題について	①空家バンクの現状は。 ②町民に対して周知、理解は得られているのか。
荒川議員 (P6)	町長の職務以外の活動とそのリスクについて	①人吉球磨の公的機関に準じた団体や政治団体の役職を務めておられるが、多すぎないか。 ②出張など町長不在時の危機管理指揮系統について。
	あれからどうなった？過去の質疑検証	①くらんど公園利活用の件。 (令和2年12月議会にて質疑) ②西小通学路危険交差点の件。 (令和元年9月議会及び令和2年12月議会にて質疑) ③本町のデジタル化の件。 (令和2年12月議会及び令和3年6月議会にて質疑) ④太陽光発電設備における規制条例の件。 (令和3年12月議会にて質疑)
上村議員 (P7)	民生委員による豪雨等での見守りについて	①令和4年において記録的な大雨等での避難状況は。 ②記録的な大雨時における要支援者の見守りについて、民生委員に対し町の指導はどうなっているのか。 ③研修等はどうなっているのか。 ④要支援者の避難計画の作成状況は。
	木上地区婦人会解散による今後の対策について	①錦町婦人会の会員数及び活動状況は。 ②当町における婦人会の役割をどう考えておられるのか。 ③木上地区の婦人会が3月末で解散されたが、教育長の所感は。 ④今後の木上地区の女性部の活躍の機会をどう進めていかれるのか。
	県内3畜産農協の合併について	①合併できなかった畜産農協、町長の率直な所感は。 ②コロナ禍において、畜産農家戸数、飼養頭数及び子牛の価格の状況は。 ③購買者の状況は。 ④町としては球磨畜産農協との連携及び支援をどのように考えておられるのか。
	町民の安心安全な交通対策について	①町内における交通事故の発生状況は。 ②国道、県道、町道における速度規制標識の設置基準は。 ③速度規制標識の設置者は誰か。(国道、県道、町道) ④町道における速度規制標識の設置状況は。 ⑤交通安全上での町道の点検はされているのか。 ⑥町道248号(平川平野線)に速度規制標識の設置はできないか。
	くま川鉄道の完全復旧と支援について	①全国の第三セクター鉄道会社が参加している鉄印帳があることは把握しておられるのか。 ②町としても鉄印帳を含め、くま鉄グッズのPRをもっとすべきではないか。

※要旨…質問についての詳しい質問

## 第4回定例会一般質問事項一覧②

議員名	質問事項	質問の要旨
石松議員 (P 8)	生理用品のその後の対応と備蓄物資の利活用について	①災害時における備蓄物資の目的は。 ②有効期限が過ぎた備蓄物資の取り扱いについて。 ③災害備蓄物資の利活用で生理用品の対応は。 ④液体ミルクの備蓄物資への要望とその後は。
	錦町産業振興資金貸与基金について	①貸与基金の内容と運用状況について。 ②農業者と商工業者の件数は。 ③償還の状況は。 ④商工業者への取り組みは。 ⑤この制度をどのような考えで取り組み、活かしているのか。
	婚活支援事業と結婚支援事業について	①婚活支援事業の検証と課題について。 ②H a s s e n b aでの婚活事業の内容と成果は。 ③農業従事者の婚活事業をどのように進めていられるのか。 ④錦町結婚新生活支援事業補助金の内容は。 ⑤助成金の現在までの実績は。
早田議員 (P 9)	学校における健康教育の在り方について	①健康教育の現状と内容について。 ②今まで、がんについての教育は。 ③がんを取り上げた教育推進は健康教育として意義があるのでは。 ④モデル校指定しての健康教育を推進してはどうか。
	工業用企業促進地域契約について	①契約の具体的内容について。 ②契約の更新について現状は。 ③定期的に更新すべきと考えるが。 ④一武工業用地にアクセス道路の改良、新設の考えは。
	学校体育から地域体育移行に伴う、施設使用料減免について	①中学部活動の社会体育移行による施設使用料の減免について。
吉田議員 (P 10)	町の将来と町有地の活用について	①次世代半導体製造会社(ラピダス)本町誘致企業への波及効果はないのか。 ②くらんど公園、周辺園内に桜(四季桜他)増植の考えは。 ③一武こども園移転後の跡地について。
	お茶生葉への異物混入防止と防災について	①木上高原地区茶園横の防風林の落葉による異物混入対策について。 ②J A下球磨第一選果場側の竹の伐採計画は。
藤川議員 (P 11)	台風14号で被災した「球磨大橋」の復旧について	①被害調査の状況と復旧に向けた見通しは。(方向性) ②橋桁が崩落した原因は。 ③県道覚井一武線(球磨大橋から県道33号線)の拡張改良工事への影響は。
	マイナンバーカード普及促進における課題について	①マイナンバーカード制度の概要(メリット、デメリット)と普及状況(交付率)は。 ②取得するのが面倒だと感じる高齢者などへの支援対策は。 ③2024年秋の「現行の保険証廃止」(マイナ保険証の義務化)への不安の声がある。対応は。
	前町長に対する「求償裁判問題」について	①「求償」の状況は。 ②今後の対応と「求償責任」の明確化を。

※要旨…質問についての詳しい質問

# 一般質問

## 町政のここが聞きたい

7人が登壇  
(要約掲載)

### 町有地の有効な利活用を

**岡田** 移転が計画されている一武こども園（旧一武保育所）跡地の利用計画はあるのか。町民の方々からの問い合わせもある。

**岡田** いろいろな利用方法が考えられる土地建物であり、町民の関心も高い。

**町長** 私にも数件問い合わせがあった。しっかりと考えて対応していく。



岡田 武志 議員



移転が計画されている一武こども園

**企画観光課** 跡地利用については、検討中であり、面積が4千3百平方メートルあり、土地改良法上の協議や排水などの利用制限があると考えている。

### 交通弱者への対応は

**岡田** 運転免許をいろいろな事情で返納される方（交通弱者）が増えている。町としての対応策は。

**総務課** 現在、乗合タクシー事業や高齢者タクシー助成事業を行っている。免許を返納された方からの問い合わせが増えてきている状況である。

### 農地を守ることが錦町を守ることだ

**岡田** 錦町の面積は85平方キロメートルで約6割が山林、残り4割を農地、宅地、雑種地、道路や河川などに分けられ、その農地周辺が私達の生活圏となっている。つまり、農地の維持管理が出来なくなると私達は生活できなくなってしまう。農家も高齢化する中で対応策は。

**岡田** その他に町では「かいモン号」や、産交バスの多良木公立、人吉医療センター玄関前、乗り入れなど、行っているが、運転免許が無くなると自分の行動範囲が狭くなり、家の中から出ることが減ってしまう。

錦町では、子供や、子育て世代に、いろいろな助成を行っている。時代が変化していく中で、高齢者の方々にいろいろお願いをしなければならぬ事も増えてきたと思う。いろいろな意味で、高齢者に優しい町であってほしい。

**町長** 今、錦町の高齢化率が34%台だろうと思う。たしかに、これからはハード面の整備も必要だと考えている。十分検討させて頂く。

**農林振興課** 農業者の高齢化や不在地主の増加、立地条件や小規模農地などの問題が発生しているが、全く管理されていない農地、いわゆる荒廃農地が一番の問題と考えている。農地バンクや、中山間地制度、農・地・水などを活用し、農業委員会と協力し、農地の保全、人材確保に取り組んでいく。

**岡田** 鳥獣害対策も大きな問題だが、狩猟免許の助成を町でも行っているが、人材確保が急務である。まず、免許を取ってもらい、ハンターとしてのノウハウを身に付けてもらわなければならない。助成ではなく人材確保の面からの予算が必要だと思う。

# あれから、どうなった？



荒川 孝一 議員

## 西小、危険な交差点問題は

**荒川** 今まで二度ほど、改良すべきだと質疑提言してきたが、どうなった？

**地域整備課** この松里永野線、松里

校区については、大変お待たせしていましたが、今年度、実務設計業務に着手し、地元説明会を経て、現在は建物・工作物補償業務に取りかかっている。また、今月（12月）の入札会において用地測量業務を発注し、今年

和5年3月までに完了する予定であり、この間、町としても水道管の布設替え工事を実施しており、今後、通学路の切替え時期を調整することとしている。今後の予定として、交差点の県による用地交渉が継続して行われ、用地交渉が完了次第、下り車線の永野・指杉方面への右折レーン工事に着手される計画となっている。

**荒川** 今後とも速やかに進めてもらいたい。

**荒川** 令和2年12月議会で私は、くらんど公園で町民がバーベキューを楽しむスペース作りをと提言し、当時の担当は、キャンプ場を整備すると答弁し、その後公園利活用の条例を作り使用料等定めたが、現在、整備どころか案内も何もしていないが、

**町長** 施設を作らなくても自由にキャンプしたり、バーベキューをしていただいて結構だと思っている。

**荒川** だから申し上げている。くらんど公園で自由にキャンプ、バーベキューしていいですよと看板上げればいいではないか。何も案内せず、町民が分かる訳がない。

**企画観光課** 条例制定後、様々な検証を行っている。ただ炊事場の設置など難しい面もあり色々勘案している。

また、国道219号線、JAスタンド前交差点については、現在、交差点より西側の歩道と用排水路の付替え工事が県により施行されており、令



いよいよ、改良始まる。

# 民生委員による 豪雨等での見守り

**大雨時の要支援者の見守りに  
対する民生委員の指導研修は**

**上村** 台風を含め記録的な大雨時における要支援者等の見守りについて民生委員に対し、町の指導、研修等はどうなっているのか。

**住民福祉課** 大雨等の災害により避難情報が発令されている場合は民生委員自身の安全を確保した上で要支援者に直接対応するのではなく町等の行政機関に対応を求めている



上村 辰生 議員

ようをお願いしている。定例会において下球磨消防組合東分署からの指導研修を受けている。また、島原市雲仙普賢岳噴火災害記念館において災害に対する心構え等の研修を行った。

**上村** 要支援者等の見守りでも町との連携をお願いする。

**女性部の活躍の機会**

**上村** 錦町婦人会の現状と課題は。

**教育振興課** 会員数は令和3年度末で、西地区58人一武地区93人木上地区53人。活動自体は究極のボランティアである。活動状況は地区ごとの活動、錦町全体での活動及び郡全体での活動である。課題としては、会員の高齢化で、若手の新規会員の加入が見込めない状況の中で地区の組織において活動に苦勞されている。

**上村** 木上地区の婦人会が3月末で解散されたが教育長の所感は。

**教育長** 非常に残念ではあるが、会長はじめ皆さんの決断で致し方ないと感じている。これまでの活動に敬意と感謝を申し上げる。今後自治的な活動や団体の縮小を懸念している。

**上村** 今後、木上地区の女性部の活躍の機会をどう進めるのか。

**教育振興課** 今後は、個人ごとの活動や木上地区に組織されているJAKま女性部や各地区の自主防災組織の女性部等と協力・連携を取りながら進めていきたい。

## 速度規制標識の設置を

**上村** 町道等に数多く設置されている速度規制標識の設置者は誰か。

**総務課** 県の公安委員会が設置することになっている。

**上村** 昭和63年10月に木上大橋の完成によって、木上平川から国道219号線に直結された片側一車線の

の町道がある。交通量も多く木上からあざざり町深田に抜ける道路として多く利用されている。歩道もなく一部通学道路にもなっている。交通事故等も発生している。この路線に速度規制標識の設置ができないか尋ねる。

**総務課** 速度規制標識は県の公安委員会が設置することとなっている。町としては現地を確認の上、必要性を確認した場合は県公安委員会へ要望書を提出することは可能である。

**上村** 交通安全協会と連携し点検の上、善処していただきたい。



安心安全な交通対策を

# 生理用品の対応と 備蓄物資の利活用について



石松 まゆ子 議員

棄コストもかかるので有効できる方法があれば活用していきたい。

**石松** コロナ禍の中、生活用品など高騰している。災害備蓄物資を小・中学校の女子トイレに生理用品の設置、また介護で大変な家庭への大人用おむつの対応など、廃棄するより備蓄物資を活用して物心両面の支援をお願いしたい。

## 錦町産業振興資金貸与基金について

**石松** 今日の新型コロナウイルス感染症の影響や農業生産費の高騰を受け、償還や返済が困難になった利用者の対応は。

**農林振興課** 令和二年度においては、コロナ禍の影響により一年間の返還猶予の条項を設けて対応した。

**石松** 商工業者の方も短期の運転資金に利用されればという声がある。公平で有効に活用できるように、ガイドラインの基準の見直しは。

**農林振興課** 返済猶予制度の追加や運転資金への貸与など社会情勢に応じた制度になるよう対応していく。

## 婚活・結婚支援事業は

**石松** 出合いの場が減少していることで、未婚化・晩婚化が進んでいる一因と言われる。結婚は当事者同士の意思のものであるが、婚活事業は社会問題の解決策の一つとして効果ある施策と考える。結婚相談員や人吉球磨女性農業委員ネットワークで女性の視点を生かした活動を進めてほしいと思う取り組みは。

**農業委員会** 基幹産業の農業後継者問題は農業維持の上でも重要な課題である。女性農業委員ネットワークやJAくま青壮年部主催で実施に向けて協議している。

**石松** 新生活の初期費用を補助する「錦町結婚新生活支援事業補助金」の内容及び事業をどう進めるか。



「こだわっている農」交流会（婚活事業）

**住民福祉課** 所得や年齢制限はあるが、新居への引っ越し費用など最大60万円の補助金を支給する。

**町長** 結婚が成立できるような支援制度を進めていく。

**石松** 新型コロナウイルス感染症についても自然災害と同様に支援物資を必要とする災害と考える。今自治体では備蓄品の期限切れの問題などで、女性の視点を生かした備蓄計画を問い直す必要があると考える。食品以外の有効期限のない備蓄品については要綱の整備をして対応しているのか尋ねる。

**総務課** 要綱の整備はしていない。また、メーカーが推奨している使用期限についても把握していない。廃

# 学校体育から地域体育移行に伴う施設使用料減免について

**早田** 中学校社会体育移行における施設使用料の減免は。

**教育振興課** 現在、ジュニアスポーツクラブの活動に関しては減免措置を行っている。中学校クラブチームに関しても同様の取扱いになると思われるが、現在は検討をしていない。また、既存のクラブチームに関しては、町外の生徒も加入しているため、減免措置は行っていない。

減免に関しては、本町のみならず管内10市町村の連携が必要であり、料金の価格設定など統一した方針の下で取組む事が重要となり今後の課題。



早田 和彦 議員

球磨圏域一体となって協議検討をしていく。

**町長** 最終的には、やはり料金の話になる。各市町村一つになって話し合いをしてみたい。

## 学校における健康教育の在り方について

**早田** 健康教育の現状と内容は。

**教育振興課** 町内各学校において、毎月目標を定め授業を行っている。主に、日常生活に関わる学習が多く、健康管理、感染症や熱中症への対応方法、各種健康診断や性に関すること等、幅広く定期的に行われている。

**早田** 日本学校保健会において、がん教育の在り方が検討され、推進に向け取組むとある。本町においてはどうか。

**教育振興課** 新しい学習指導要領により、小学校6年生では「喫煙、飲酒、薬物乱用と健康」という項目の中で、がんや心臓病への影響を取り扱うようになってきている。また、中学校2年生で生活習慣病予防の中で、がん予防に取組むようになっており、系統的な学習を行っているのが現状。

**早田** 「青少年健康推進の町」として、うたうことを推進しては。

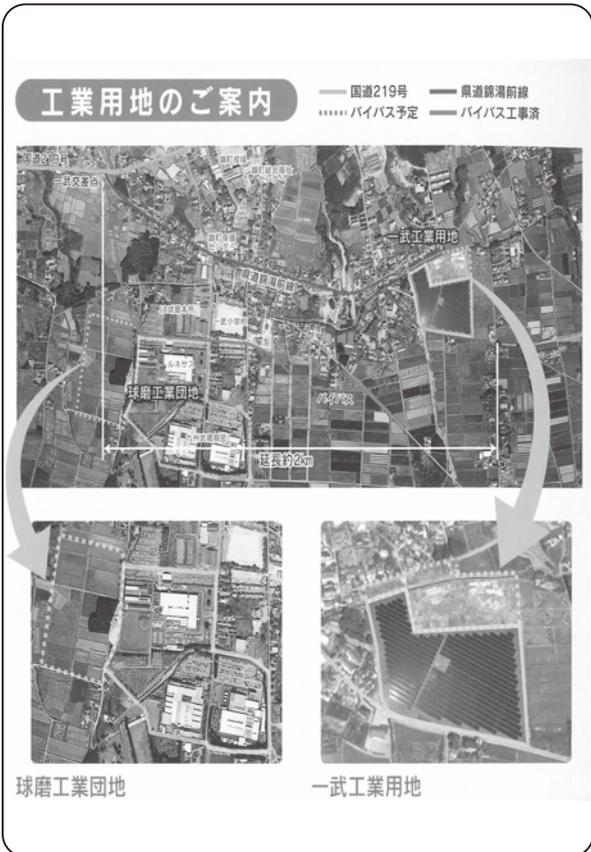
**町長** 町長に就任した折、町全体で健康づくり日本一を目指している。健康づくり日本一、推進の町と、うたうことは十分可能と思っている。

## 工業用企業促進地域契約について

**早田** 企業が進出する前に、促進地域を整備してはどうか。

**町長** 町が先行取得しては難しい。県が高森町に先行取得しているが、そこはもう塩漬け状態になっている。先行取得は、一つの賭けであり、町にそういう余力はない。

話があった時、町がしっかりと用地を確保し用地交渉しながら、企業が来やすいようなやり方をしていく。



錦町企業誘致のご案内パンフレットより

# 本町誘致企業への波及効果は!!



吉田 眞二 議員

動車向けの半導体、何か新しい情報を頂ける感じもある。本社へ出向きしっかりと要望していく。

**吉田** 企業を誘致するのは簡単ではない、今ある企業を大事にして波及効果への支援要望をお願いしたい。

## 町を華やかに!

**吉田** 観光面で四季桜、コキアを町内で植栽の考えは。

**企画観光課** コキアに関しては試験的に植栽し課内で協議し結論付けていきたい。

**企画観光課** 現段階では町内企業等への波及効果は不明であるが、TSMCが稼働した場合、観光面・保養面に効果があると考える。

**町長** 本町の誘致企業ルネサスは自

は桜が2回咲く、コキアで赤く染まる町。障がい者の方々の仕事、農福連携の一つとして植栽を計画してはどうか。

**町長** 副産物もできる事であれば、しっかりと検討させていただく。

**吉田** 一武こども園移転後の跡地について地域からの要望等はないか。

**総務課** 要望等は伺っていない。

**吉田** 地域住民の方々の意見を聞き通学路沿いでもあるので慎重に検討し跡地の利用をお願いしたい。

## 農産物の安心安全への対応は

**吉田** 木上高原地区のお茶園横の防風林からの落葉による異物混入対策、防風林の管理者、土地の管理者は？

**農林振興課** 相良村村有地で管理も相良村が行っている。また、一帯は保安林指定となっている。



保安林は農作物を守れるか?

**吉田** 保安林とは水源の涵養、土砂の崩壊、その他災害の防備、生活環境の保全・形成等特定の公益目的を達成するため、農林水産大臣または都道府県知事によって指定される森林とある。落葉による異物混入が農家にとっては重大問題である錦町のお茶農家、それと現地でお会いした農家の方々も落葉には本当に迷惑しているのです、全伐をお願いしたいと声を聴く、出来ないか。

**農林振興課** 錦町の農業者の要望があることは相良村へは伝えてある。

**町長** 町としてしっかりと対応する必要がある、頑張っていく。

# 球磨大橋の早期復旧を！

**藤川** 9月18日の台風14号の影響で「球磨大橋」の橋桁が沈下崩落し通行不能となっている。木上地区と町中心部を結ぶ幹線道路であり通勤通学をはじめ地域生活に欠かせない重要な「橋」である。被災後、現在までの調査状況、復旧に向けた見通し、方向性についてどうなっているか。

**地域整備課** 被災直後から国の支援を受けながら現在も調査が続いている。事業主体である県は「仮橋」による応急復旧を国交省（地方整備局）の技術支援のもと行うとしている。



藤川 喜一 議員



橋脚が沈下した球磨大橋

**藤川** 橋桁が沈下した原因についてはどう報告されているか。

**地域整備課** 引き続き調査中だが大雨による球磨川の増水により川床が洗掘され右岸側から9番目の橋脚が約50センチ沈下しその影響により路面の凹凸が確認されている。

**藤川** 現在計画されている球磨大橋から県道33号線までの道路拡張工事への影響はないか。

**地域整備課** 県への問い合せ回答では「影響について示せる状況ではない」。町の方では工事区間の地積の修正作業を続けている。

## “マイナンバーカード普及促進”の課題は。

**藤川** マイナカード普及促進における課題や問題点が指摘されている。本町の普及状況は。

**住民福祉課** 11月末現在、申請率67%、交付率56%。国、県の平均を上回っている。

**藤川** 国の目標はR4年度末100%だが6割にも達していない。理由についてどう考えるか。

**住民福祉課** 制度自体が「任意」（法13条）。持つてなくても実害がない。カード紛失時の個人情報漏洩への不安。などではないか。

**藤川** カードを取得する手続の面倒さ。申請にも行けない一人暮らしの高齢者などへの支援策の必要性。2024年秋に現行の保険証を廃止してマイナカードと一体化するという政府方針の発表などで今後どうなっていくのかという不安。今後様々な問題が具体化してくることが予想されるので丁寧な説明と対応が求められる。一人も取り残さないことが重要だ。

※前町長に対する「求償裁判問題」  
①求償の状況②求償責任の明確化について質問した。

# 令和4年 総務建設常任委員会研修報告

## 1 参加者

### 研修参加者

委員長 池田 秀晴      副委員長 吉田 眞二  
委員 金山 民幸      守永 慶次郎      岡田 武志      藤川 喜一

### 随行者

総務課 課長                      深水 英雄  
企画観光課 課長補佐      甲斐 博旨

## 2 研修期日及び研修目的

① 令和4年11月15日（火）  
長崎県波佐見町  
「財政健全化に向けた取り組みについて」

② 令和4年11月16日（水）  
長崎県東彼杵町  
「地域づくりに関する町の取り組みについて」



### 研修目的

- 1日目は、経常経費の抑制や歳入確保の取り組み、職員数の基準や人件費の割合、税の徴収率向上に向けた取り組み、基金及び財政指標、上水道事業の運営について研修。
- 2日目は、人口減少対策（移住人口及び交流人口の拡大）についての研修。

## 3 研修内容

### ① 長崎県波佐見町 「財政健全化に向けた取り組みについて」

波佐見町は、長崎県のほぼ中央、東彼杵郡の北部に位置し、四方を100～500メートルの山々に囲まれた盆地を形成し、唯一海に面していない町である。

バブル経済崩壊後で疲弊した経済や地域活性化の打開策として国が創設した地域総合整備事業債を財源とした大型事業の実施により、平成10年度以降、起



債残高が単年度予算を大きく上回り厳しい財政状況となり、職員数の低減、徹底した経費縮減、補助金30%削減などの聖域なき経費削減に取り組み、財政健全化に努める。

近年では、財政指数が安定してきたことに加え、ふるさと納税が順調に推移しており、地域活性化や子育て支援などの様々な新規事業に取り組んでいる。

また、徴税などの徴収率向上については、差押えの制度を正しく理解、運用し、差押えを意識させ、自主納税を促すことで現年収納率の向上、時間外勤務の激減、クレームの激減に成功する。

## ② 長崎県東彼杵町 「地域づくりに関する町の取り組みについて」

長崎県のほぼ中央に位置し、長崎街道と平戸街道がクロスする交通の要衝として発展し、お茶とクジラの町として長崎県の玄関口として知られ、大村湾に面した気候が穏やかな気象条件を備えている町である。

人口減少対策（移住人口の拡大）では、移住関連施策を平成23年度に開始し、令和3年度までの11年間で移住した方は161世帯、427人で、空き家バンクと持ち家奨励金が全体の8割を占め、県外が4割、県内が6割という状況である。

人口減少対策（交流人口の拡大）では、交通アクセスが良い反面、人が町外に流れやすく、商店など産業が育ちにくい特徴があり、交流人口拡大に繋がる有効な一手が打てていない状況であったが、東そのぎ・ひとこともの公社を中心に交流人口が増加している。

しかし、移住人口が拡大はしても、地域住民とのコミュニケーションが取れずトラブルが発生することが懸念されるという話であった。

また、企業誘致に関しては、山間地であり、平地が少ないことから厳しいと考えているとのことであり、令和4年4月に過疎指定を受けたということであった。

以上、二日間の研修を終えて思ったことは、同じ東彼杵郡管内の自治体でふるさと納税額も一方は20億円でもう片方は3億5千万円と大きく差が出ていて、メインの返礼品でも波佐見町は波佐見焼で人気があり、東彼杵町はそのぎ茶と大きな差が生じている。本町でも人吉球磨の中で唯一過疎の指定を受けずに努力してはいるものの、今一効果が表れている兆しもないものである。人口減少はもとより、少子高齢化が喫緊の課題であるが、職員と一丸となり色々な面でアイデアを出し合いながら、前向きに捉えなければならないものとする。

# 令和4年 厚生文教経済常任委員会研修報告

## 1 参加者

### 研修参加者

委員長 石松 まゆ子 副委員長 早田 和彦  
委員 荒川 孝一 右田 宣之 上村 辰生 竹田 農利人

### 随行者

農林振興課 主事 上田 聖也 主事 牟田 勇佑

## 2 研修期日及び研修目的

① 令和4年11月8日(火)  
熊本県宇城市 くまもと☆農家ハンター  
「鳥獣害対策の取り組みについて」

② 令和4年11月9日(水)  
福岡県うきは市 道の駅うきは  
「物産館の運営について」



## 3 研修内容

### ① 熊本県宇城市 くまもと☆農家ハンター 「鳥獣害対策の取り組みについて」

錦町においても、鳥獣被害は深刻で被害額は年々増加傾向にある。その現状に鑑み、厚生文教経済常任委員会では、現在、その道に多大な尽力をされマスコミ等でも紹介された「くまもと農家ハンター」代表 宮川将人氏を訪ね貴重な講義を受講した。

宮川氏は、宇城市三角町戸馳島において、洋蘭やイチゴ栽培を経営されているが、平成28年頃からイノシシが近隣に急増し、農家の高齢者の方から「どうにかしてほしい」との声があり「地域と畑は自分たちで守る」という強い信念に基づき、2016年にメンバー130人による有志活動団体で「農家ハンター」を立ち上げ、箱罟主流の捕獲を実践した。

最初の頃は、イノシシの生態も分からず苦慮したが、現在では年間1,000頭の捕獲実績もある。捕獲したイノシシは、令和元年11月に4,000万円を投じ完成した解体処理施設「ジビエファーム」で製品化している。



事業内容は、食肉として消費者へ、ペットフードはネット販売。しかし、捕獲したイノシシ全てがジビエとならないので、それらは丸ごと機械で処理し、堆肥加工されている。

このように、捕獲から処分まで綿密な工程で事業がなされていることに、非常に感銘を受けた。また、この事業について語る宮川代表の熱量は凄く、言葉巧みな講義はビジネスとしても地域貢献の将来性など学ぶものが多く素晴らしい研修であった。

今後、地域の農地は「自分たちで守る」という信念で、先進地の研修を通じて学ぶことも大切であり、行政も地域の方々と一緒に鳥獣害対策に取り組むことが必要と思った。

## ② 福岡県うきは市 道の駅うきは 「物産館の運営について」

うきは市は、2005年に旧浮羽町と旧吉井町が合併した総人口28,724人、世帯数11,238世帯の市である。また、豊かな水と自然に囲まれた農山村地帯である。年間を通して多種多様なフルーツが収穫できる「フルーツ王国」であり、錦町と共通していると感じた。

道の駅うきはは2000年4月にオープンして22年を経過。「九州・山口、道の駅人気度ランキング」において、2021年度まで7年連続「総合第1位」に選ばれている道の駅である。

研修では、「うきはの里株式会社」代表取締役 江藤氏と駅長の小河氏により説明を受けた。道の駅うきはは、市の指定管理でうきはの里株式会社が運営し、うきは市、農協森林組合、観光協会それぞれが出資している。職員数は、社長、駅長含め39名で、品質管理を徹底し、出荷者へは販売状況をメールで送信するなどITを活用し直売所の売上額も令和2年度より年間10億円を突破している。(1日の最高売上1,100万円、最高来客数3,700人、年間来客数120万人)

直売所は、地域農産物販売を原則としているが、当駅に無い商品は道の駅間交流で調達し販売している。農産物の販売は西見台出荷組合が担っており、組合員749人、年会費1,000円、組合加入金2,000円となっている。また、部会が9つの生産部会に組織されており、売上目標を達成した部会には報奨金を贈呈している。

直売所の年間個人売上高	10,000千円以上	11人
	5,000千円以上	31人
	1,000千円以上	180人

今後の課題として、①冬場の売上向上対策 ②出荷者の高齢化に伴う出荷量の不足対策 ③施設の老朽化 ④贈答品や商品開発等を挙げられていた。その対策の中で関心を引いたのが、出荷者の高齢化による出荷量不足対策としての「庭先集荷事業」であった。高齢者の健康増進、介護予防、やりがいの創出ということで、介護保険地域支援事業交付金を活用した新規事業を計画されていた。誰でも出荷できるし、高齢者の生きがい対策にも寄与できる。

課題も多いが運用次第では、新たな道の駅運用へと期待できるものであり、道の駅うきはの活動を注視したい。

最後に、本町の道の駅についても行政、出荷協議会の生産者等と連携しながら、農産物や施設等の充実を図り、来客者に喜んでもらえる道の駅づくりに期待したい。

# 議会のうごき

10月

- 4日 全員協議会  
熊本県町村議会議員研修会
- 6日 例月出納検査(～7日)
- 7日 定例郡議長会
- 8日 全国和牛能力共進会
- 11日 郡町村監査委員連絡協議会研修会
- 12日 広報特別委員会
- 14日 令和4年第3回臨時会  
郡町村議会議員親善グラウンドゴルフ大会
- 17日 広報特別委員会
- 24日 広報特別委員会
- 25日 定期監査(～26日)

11月

- 1日 全員協議会
- 7日 定例郡議長会
- 8日 厚生文教経済常任委員会研修(～9日)
- 9日 議長全国大会及び産業行政視察研修(～11日)
- 10日 例月出納検査
- 15日 総務建設常任委員会研修(～16日)  
財政援助団体等監査・備品監査
- 20日 剣豪「丸目蔵人」顕彰少年剣道選手権大会
- 24日 町村議会広報研修会
- 25日 議会運営委員会  
人吉下球磨消防組合議会定例会  
人吉球磨広域行政組合議会定例会(～12月23日)
- 29日 議会運営委員会  
全員協議会

12月

- 4日 球磨川流域橋梁着工式
- 6日 令和4年第4回定例会(～9日)
- 7日 全員協議会
- 15日 例月出納検査
- 16日 子ども議会
- 19日 定例郡議長会・正副議長会議



## 創意工夫の 取り組みに学ぶ

令和4年11月24日、グランメッセ熊本にて「第16回熊本県議会広報コンクールと研修会」が開催され参加してきました。コンクールにおいては、錦町議会広報の企画特集部門の座談会「女性の社会進出を考える」が好評をいただいたもののコンクール入賞は逃しました。引き続き行われた研修では入賞された県下町村議会広報誌を例に「何が、どう違うのか」創意工夫の取り組みに学ぶ」というテーマで熊本大学客員教授越地真一郎氏から講演がありました。読みたくなる広報誌の共通点①住民とともに考える姿勢の徹底②秀でた企画力と編集力③議会広報の役割発揮④行政広報との違い鮮明、を再度我々も胆に置き「ほおじろ」を編集していかねばならないと思えました。

広報特別委員会

## 軌跡

正月6日、一武八幡宮において毎年恒例の錦町議会健康祈願祭が開催された。朝の寒さは厳しいものの日中は穏やかな日差しが続く今年の正月であるが、やはり社殿の中は厳しい冷たさがある。頭を垂れ静かに宮司の祝詞を聴きながら今年一年の安全を願う。思い起こせば新型コロナウイルス感染症がまだ日本では確認されていなかった頃、世界のどこかのニュースと他人事に思っていた。それが今は…。そしてロシアとウクライナの紛争、これも世界のどこかのニュースと片づけようとしている自分がいる。我が身の健康を願う、いや我が身より家族の健康を願う、世界平和の願掛けは大袈裟だろうが、日本の平和、錦町の平和、ぐるぐると考えているうちに祝詞は終わってしまった。今年一年、皆、笑顔で過ごせますように。

文責 荒川 孝一

### 【広報特別委員会】

委員長 荒川 孝一  
副委員長 竹田農利人

委員 池田 秀晴  
石松まゆ子  
吉田 眞二  
議長 金山 民幸